

地域振興県土警察常任委員会資料

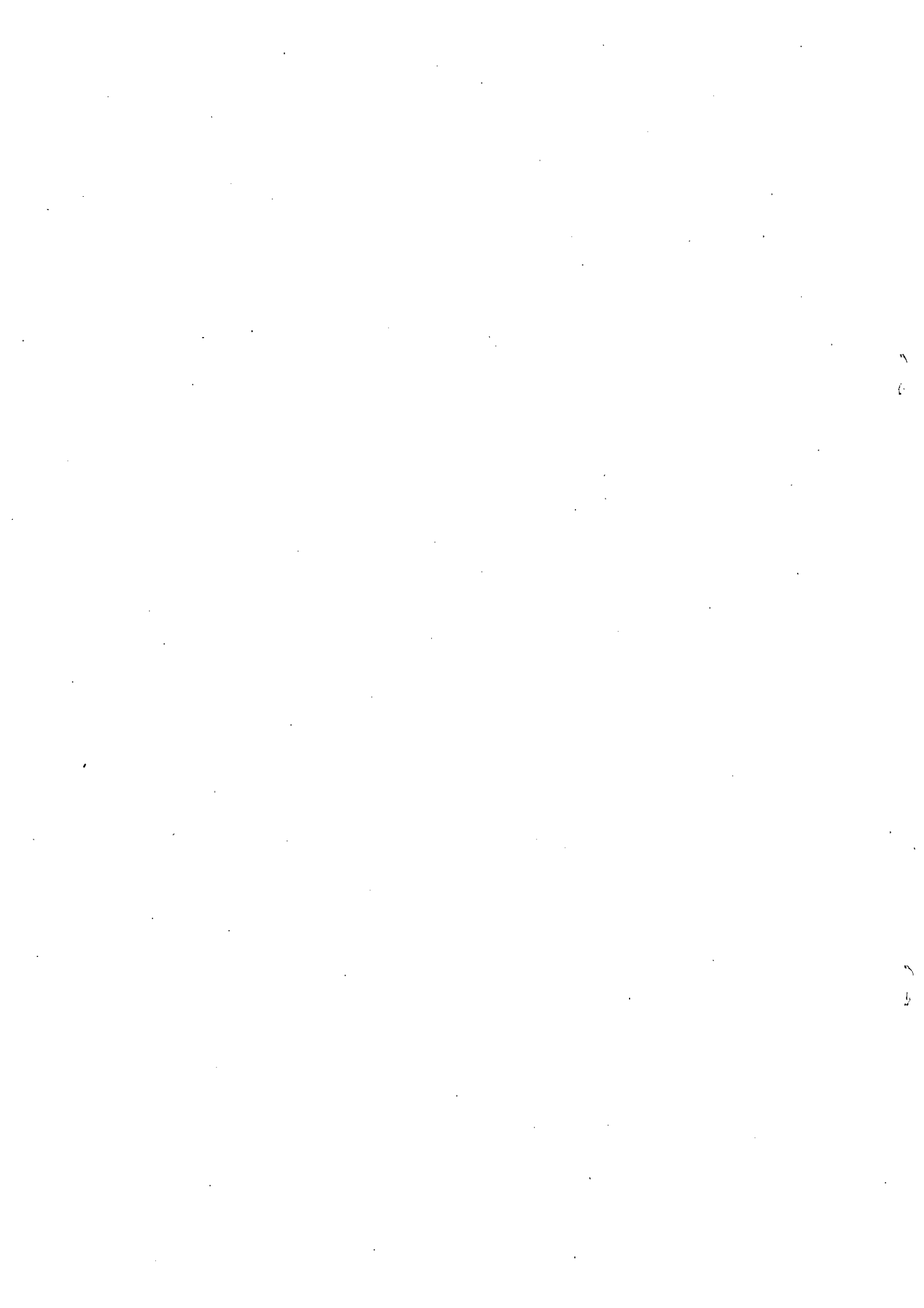
(平成28年8月19日)

- 平成28年上半期の交通事故発生状況について

..... 1

(交通部交通企画課)

警 察 本 部



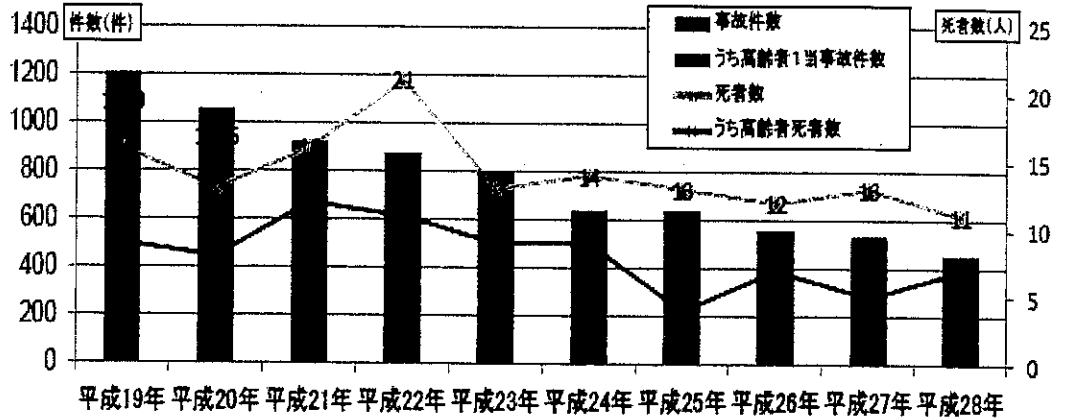
平成28年上半期の交通事故発生状況について

平成28年8月19日
警察本部
(交通部交通企画課)

平成28年上半期の交通事故発生状況について、下記のとおり報告する。

記

1 交通事故発生状況（各年6月末の推移）



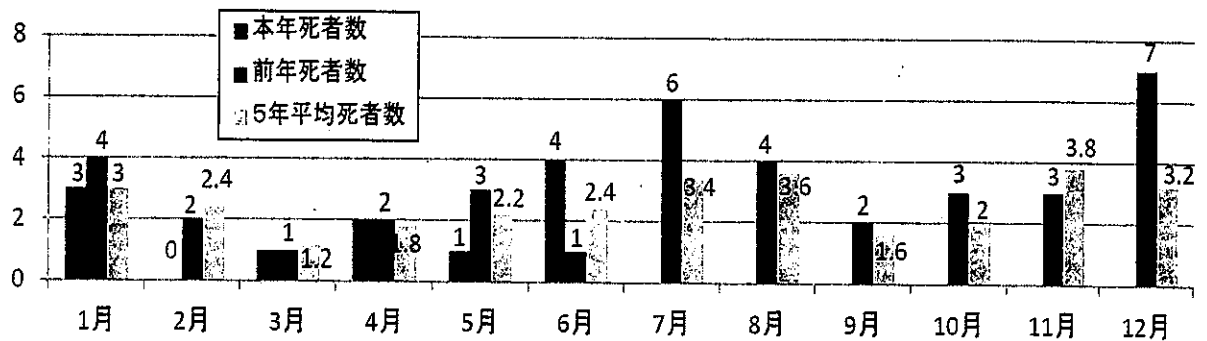
区分	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
交通事故件数(件)	1209	1056	926	876	799	640	641	558	540	457
うち高齢者第1当事者件数	194	173	158	160	145	116	118	115	117	103
死者数(人)	16	13	16	21	13	14	13	12	13	11
うち高齢者死者数	9	8	12	11	9	9	4	7	5	7
高齢者1当事者の割合	16.0%	16.4%	17.1%	18.3%	18.1%	18.1%	18.4%	20.6%	21.7%	22.5%
高齢者死者の割合	56.3%	61.5%	75.0%	52.4%	69.2%	64.3%	30.8%	58.3%	38.5%	63.6%

- 交通事故件数は減少傾向（前年比－83件・－15.4%）にある。
- 死者数は11人（前年比－2人）で、昭和29年以来最小であった。
- 高齢者が第1当事者となる事故の割合が年々増加傾向にある。

2 交通死亡事故の発生状況

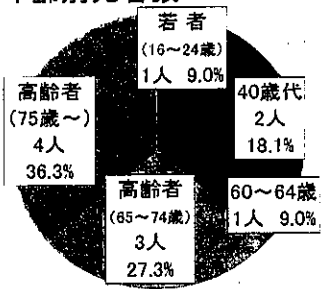
(1) 月別死者数

交通死亡事故11件・死者11人（平成28年6月末）

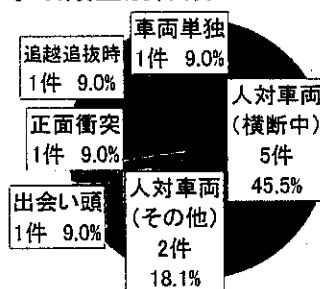


- 前年は夏期（特に7、8月）及び12月に多発したが、本年は6月に4件と多発した。

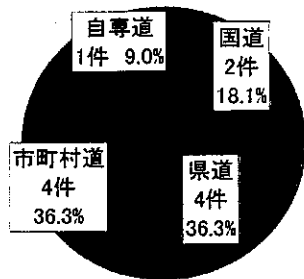
(2) 年齢別死者数



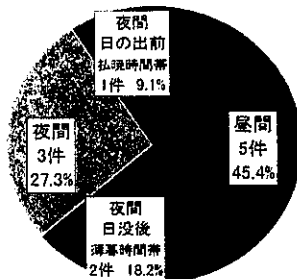
(3) 事故類型別件数



(4) 路線別件数



(5) 昼夜別件数



- 年齢別：死者11人中、高齢者が7人（63.6%）と割合が高く、うち、75歳以上が4人を占めた。
- 事故類型別：人対車両事故が11件中、7件（63.6%）を占め、うち、5件が横断中の事故であった。
- 路線別：幹線道路（自専道、国道、県道）で7件（63.6%）と割合が高い。
- 昼夜別：11件中、6件（54.5%）が夜間に発生し、うち、3件が日没後・日の出前1時間以内の薄暮時間帯等に発生した。
- 高齢者死者7人のうち、5人が横断歩行者（うち、夜間4人）、2人が自転車乗車中であった。
- 高齢者死者にも、横断歩道外横断や車両の直前横断等の法令違反があった。

3 下半期に向けた交通事故抑止対策

(1) 夏期対策の推進

- 熱中症による交通事故防止対策を推進する。
- スピードダウン運動を展開する。
- 幹線道路を重点とする速度抑制を目的とした交通指導取締り及び街頭活動（見せる活動）を強化する。
- 夜間における歩行者事故防止を目的とした前照灯早期点灯及びハイビーム使用キャンペーンを実施する。
- 交通マナーアップ啓発を実施する。

(2) 年末に向けた交通事故抑止対策

- 秋の全国交通安全運動（9月）、年末の交通安全県民運動（12月）の取組を推進する。
- 歩行者、自転車のマナーアップ啓発及び指導を実施する。
- 前照灯早期点灯、ハイビーム使用キャンペーン、反射材着用啓発を実施する。
- 飲酒運転根絶対策を強化する。

(3) 「鳥取県交通安全条例（仮称）」（9月議会上程予定）を活用した交通安全対策

- 障がい者、高齢者、子ども、自転車に対する交通安全対策を推進する。

(4) 年間を通じた交通事故抑止対策

- シルバー・セイフティ・インストラクター、警察官等による高齢者訪問活動を推進する。
- 複数回交通事故当事者に対する個別指導を実施する。